

筑豊小児科医会会報

Vol.226 2025.11



Contents

- ✧ トピックス
- ✧ 筑豊小児科医会入会のご挨拶
- ✧ 新任医師のご紹介
- ✧ 研修医のご紹介
- ✧ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2025 年 8 月》
- ✧ 小児科関連勉強会のご案内
- ✧ AI-CAP 通信
- ✧ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)
- ✧ 外来診療担当表

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

トピックス

小児虐待防止委員会（AI-CAP）の活動報告

小児科部長/小児虐待防止委員会 委員長 岡松由記

子どもの権利条約には、「人類社会のすべての構成員の固有の尊厳および平等のかつ奪えない権利を認めることが、世界における自由、正義及び平和の基礎である」と記されています。この条約の精神に基づき、私たちは子どもの権利を守ることを最重要使命としています。暴力や虐待など、子どもの尊厳を傷つける行為をなくすための努力はもちろんのこと、そうした事態が起こらないよう事前に防ぐための環境づくりにも力を注いでいます。子どもが安全で安心して成長できるよう、前向きな関係性を育むことが大切だと考えており、私たちは日々この課題に真摯に向き合っています。

当院の小児虐待防止委員会は、被虐待児が当院を受診した際の迅速な対応や必要な支援を行うだけでなく、「予防」を主軸に活動しています。アウトリーチが難しい場合でも、自治体や保健師、学校などの関係機関と連携し、院内報告システムを通じて、気になる子どもに関する情報を積極的に共有しています。これにより、地域全体で子どもの見守りの質を高め、早期発見や支援につなげることを目指しています。すべての子どもがその権利と尊厳を守られ、社会全体で健やかに成長できるよう、今後も継続して取り組んでいきます。

筑豊小児科医会入会のご挨拶

●医療法人 安倍病院 あべ としゆき 安倍 俊行先生

はじめまして、宮若市にあります、医療法人安倍病院の安倍俊行です。

私自身、小学校まで宮若市（宮田南小学校）にいまして、その後、久留米附設中高、順天堂大学へと進学し、飯塚病院で8年間総合診療科や消化器内科で勤務をしておりました。最近、主に高齢者を対象としておりますが、元々は順天堂大学の小児外科に入局したかったという思いがありました。

今後は予防接種など、少しでも地域の小児科診療に関わることができないかと模索し、入会をさせていただきました。時期等は未定ですが、宮若市の小児から高齢者までの幅広い医療を担っていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いします！

新任医師のご紹介

●飯塚病院 小児科 医長代理 もとう ゆうじ 茂藤 優司

10月より着任いたしました茂藤優司と申します。これまで久留米大学病院や聖マリア病院で勤務してまいりました。飯塚病院の一員として、地域の皆様の健康に貢献できますことを大変光栄に思っております。

一日も早く皆様のお役に立てるよう、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

研修医のご紹介

●総合診療科 専攻医 1 年目 おがた り こ 緒方 理子

飯塚・頤田総合診療専門研修プログラム所属の緒方理子と申します。飯塚病院の小児科で 9 月末より 3 ヶ月間、研修させていただいております。患者さんご家族が安心して診療・ケアを受けられるよう対応しつつ診療に関わらせていただけたらと思っております。短い期間ではございますが何卒よろしくお願い申し上げます。

●初期研修医 1 年目 まの の しやう こ 的野 将吾

こんにちは。久留米市出身、熊本大学卒、初期研修医 1 年の的野将吾と申します。好きなドラマは『フルハウス』で、3 姉妹の成長と、それを温かく支える 3 人の親たちの姿に心を打たれました。

小児科には以前からとても興味があり、今回ローテートするのを楽しみにしていました。小児特有の疾患や大人との違いを意識しながら、多くのことを学ばせていただきたいと考えております。

短い期間ではございますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2025 年 8 月》

●入院患者数 109人 ●外来患者数 987人 ●救命救急センター受診者数 50人

●新生児センター入院患者数 15人 ●分娩件数 34件 ●手術件数 12件

●主要疾患数（退院患者数：98 人）

痙攣及びてんかん	13	肺炎・気管支炎	11	低出生体重児	7
新生児呼吸障害・心血管障害	7	急性胃腸炎	4	喘息	3
急性上気道感染症	1	腸重積・腸閉塞	1	髄膜炎	1
その他	50				

●紹介件数（五十音順）

小児科：96 件	
飯塚医師会検診検査センター	8
こどもクリニックもりた	6
ひこばえ子どもクリニック	
弥永内科小児科医院	
津川診療所	5
あらきこどもファミリークリニック	4
西園内科クリニック	
松尾ファミリークリニック	

小児外科：9 件	
ひこばえ子どもクリニック	2
石原小児科クリニック	1
栗原小児科内科クリニック	
田中医院	
津川診療所	
二宮医院	
ひじい小児科クリニック	
松尾ファミリークリニック	

■ 11、12 月の筑豊小児科医会勉強会は休会とさせていただきます。

AI-CAP 通信

11 月は児童虐待防止推進月間です。毎年この時期になると、オレンジリボンや「189（いちはやく）」という番号を見かける方も多いと思います。けれど、児童虐待という言葉を目にすると、「どこか遠くの出来事」「特別な専門家が関わる問題」と感じてしまうかもしれません。

しかし実際には、虐待はごく身近なところで起きています。外来や病棟、保育園、学校など私たちが暮らしている様々な場面で、子どもや保護者が小さな SOS を発していることがあります。たとえば、いつも不安そうな表情をしている子ども、親の顔色ばかり気にして話す子、強い言葉で叱ってしまう親御さん——それらは誰かに助けを求めているサインかもしれません。

虐待は保護者の「悪意」だけで起きているわけではなく、孤立や不安、疲れ、経済的な苦しさなど、その背景には様々な要因が重なっています。だからこそ、私たちができることは「気づくこと」から始まります。診療や対応の中で違和感を覚えたとき、心に留めて、そっと声をかけること。「大丈夫ですか」「お手伝いできることはありますか」といった一言が、家族にとっての救いになることがあります。

子どもを守るのは、特別な誰かではなく、社会全体の力です。私たち病院職員もその一員として、日々の小さな関わりの中で子どもたちの安全と安心を見守っていけたらと思います。11 月という節目に、もう一度「気づく・つなぐ・支える」という意識を共有し、子どもたちが笑顔で育つ地域をつくっていきましょう。

文責：AI-CAP 大矢 崇志

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

秋は物思いに耽る季節。外来でお母さん方の子育ての悩みを聞くたびに、自分の子育てを思い出しては胸が疼く。二十代後半から始まった子育て。僕はいつも不安定だった。大学病院に勤務していた僕は、好きな仕事（診察）以外にもやらなければならないことがあり、いつもいっぱいいっぱいテンパっていた。今思えば未熟だったとしか言えないが、未熟な親が未熟な子を育てる“子育て”は失敗してばかりだった。今でこそ、失敗の経験を踏まえて話を聴くことが診療の役に立つこともあるが、僕が我が子にとっての安全基地になりえたかどうかはわからない。

なぜ、人は未熟なまま生まれ、未熟な状態で子育てをするのだろうか。子育てをする哺乳類はどれも成長が早く、生まれた直後に立って歩き始め、数年で子孫を残す。一方、人間の赤ん坊は未熟に生まれ、子孫を残せるようになるまで十数年かかる。成人と呼ばれる歳になっても自分を探し続ける個体はいるし、安定して生活できるようになるまでにはさらに時間が必要だ。そんな成熟の過程で子を産み育てるなんて、そもそも無理がある。ようやく子育てに必要な余裕や忍耐が身につく頃には、すでに老いが始まっている。親が元気なうちにたくさん子を産み、強い個体だけが生き残った原始時代、自由が制限されて早く大人になることを強いられた中世を経て、自由を得ることと引き換えに成長過程の親が子を育てる現代。動物たちのように生存と子育てに全振りできる人間の親なんているだろうか。少なくとも自分はそうではなかった・・・。

なんてことを、眉間に皺を寄せて考えてはみたものの、そもそも未熟だからこそ社会を築き、協力して子育てをしてきたのが人間だし、現代の子育ての難しさって個人の問題というより社会全体の問題だよな。うん、僕は悪くない、悩むのはやめましょう。

さて、こんな気分になりがちな季節に、「東京物語」はどうでしょう。「映画監督が選ぶベスト映画」で1位に選ばれたこともある、言わずと知れた小津安二郎監督の名作です。白黒の作品だし、セリフは昭和の話し方で棒読みだし、今の感覚からすると少し観づらいところはあると思いますが、そこを乗り越えられれば、こんなに味わいがいい作品はありません。

田舎から上京してくる両親を敬いながらも、一方で疎ましく感じてややぞんざいに扱ってしまう、東京に住む開業医の長男と理髪店を営む長女の兄妹と、子どもたちの気持ちに気づいているものの、迷惑をかけないよう言いなりになってしまう両親が織りなす苦くて渋い物語。自立して東京で立派に生活する自慢の子どもたちは親の面倒をみてくれず、心の拠り所は戦争で亡くなった次男の嫁（原 節子）だけ・・・鑑賞する年代によって、子どもの立場で観たり、親の立場で観たりしてしまう作品ですが、いつ観ても、えもいわれぬもの寂しさに包まれてしまいます。秋ですから、たまにはいいですね。

一般外来： 予約・紹介状必要		月	火	水	木	金
小児科	初診	神田 洋 嘉村拓朗 吉田浩一／ 安元和博(交代制)	坂口万里江 廣瀬彰子 大矢崇志／ 茂藤優司(交代制)	坂口万里江 廣瀬彰子	坂口万里江 大武瑞樹 莫根良太／ 末継智士(交代制)	岡松由記※／ 大矢崇志(交代制) 坂口万里江 田中ゆかり 嘉村拓朗／ 茂藤優司(交代制)
	再診	岡松由記※ 神田 洋 嘉村拓朗 吉田浩一／ 安元和博(交代制)	坂口万里江 廣瀬彰子 大矢崇志／ 茂藤優司(交代制)	岡松由記※ 坂口万里江 廣瀬彰子 田中ゆかり	岡松由記※ 坂口万里江 大武瑞樹 莫根良太／ 末継智士(交代制)	岡松由記※／ 大矢崇志(交代制) 坂口万里江 田中ゆかり 嘉村拓朗／ 茂藤優司(交代制)
小児外科	初診	近藤琢也※	—	近藤琢也※	—	近藤琢也※
	再診	近藤琢也※	—	近藤琢也※	—	近藤琢也※
専門外来：予約・紹介状必要						
新生児外来		—	神田 洋	—	—	—
神経発達外来		近藤里香子 大矢崇志	—	—	近藤里香子 大矢崇志	—
循環器外来		—	寺町陽三	平田悠一郎 (第2,4)	—	—
内分泌外来		—	—	西岡淳子 (第2)	—	八ツ賀秀一 (第1または第2) 西岡淳子 (第4)
腎臓外来		—	荒木潤一郎 (不定期)	—	—	—
血液内科外来		—	—	—	—	安藤昭和 (不定期：第4)
アレルギー外来		—	担当医	担当医	—	—
1ヶ月健診(金曜午後)		—	—	—	—	担当医
福岡県予防接種 センター事業		—	—	—	担当医	—

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

